

栄えある受賞おめでとうございます

釧路市民貢献賞



産業部門 **小瀬 泰さん**(74歳)

阿寒農業協同組合において副組合長および代表理事組合長を歴任し、永きにわたり組合員の経営安定ならびに組合の健全な運営に取り組まれた。特に、平成13年8月の釧路市農業協同組合との合併にあたっては、スムーズな合併に導いた功労者である。農業振興の面では、TMRセンターを設立し、高品質な飼料作物の安定供給を実現されたこと、農業研修施設「ドリーム」を設置し、後継者育成に尽力された他、6次産業化として黒毛和種「阿寒丹頂黒和牛」の加工施設も設置し、ブランド化を進められた。その他、釧路農業協同組合連合会会長、一般社団法人釧路観光コンベンション協会理事等、団体の要職も担われているなど、釧路市ならびに管内農業の振興、発展に大きく寄与された。



社会部門 **大西 英一さん**(78歳)

昭和52年、釧路自然保護協会に入会、道東の自然をフィールドとして自然環境の保全活動に取り組みされた。平成6年、武佐地区に残されたかつての鉄道防雪防風林の豊かな自然環境に着目し「釧路武佐の森の会」を設立。現在まで会長を務め、自然保護活動に尽力されてきた。平成13年、同会の提言を受け「武佐の森緑地」として市による公園整備が行われ、市街地に隣接した貴重な自然環境が残されることとなった。また、昭和60年から釧路市春採湖審議会（現釧路市環境審議会）委員、平成15年から北海道地球温暖化防止活動推進員、平成26年1月から同審議会会長を務める。平成18年釧路市文化奨励賞（自然科学部門）受賞。自然環境保全活動の重要性の啓発に大きく貢献された。

釧路市文化賞



芸術部門(立体造形) **中江 紀洋さん**(71歳)

大学卒業後、故郷である釧路を制作活動拠点とされ、時間や思い、雰囲気といった目に見えないものを造形し、見る者の想像力を刺激する作風で高く評価されている。その作品は、札幌芸術の森野外美術館、とうや湖ぐるっと彫刻公園、室蘭市入江運動公園、芽室公園、釧路市ぬさまい公園、釧路市北大通シンボルロードに野外彫刻として設置されるなど、作品の素晴らしさは、広く認知されている。

来年も札幌での個展が予定されるなど、ますます意欲的に創作活動に取り組まれている。また、造形作家としての創作活動にとどまらず、絵画塾を開き、後進の指導・育成に尽力されるなど美術文化の普及啓発に努められ、本市の文化芸術の振興に多大な貢献をされた。

釧路市文化奨励賞



芸術部門(音楽) **中野 國韻さん**(63歳)

大学卒業以来、教職の傍ら、積極的に各種音楽団体の指揮や指導を続けられ、特に合唱団「コール・カンパニーレ」においては40年以上にわたり指揮者として指導にあたり、数多くの演奏会に出演するなど、釧路に根ざした音楽活動を続けられている。また、自身が指導した高校吹奏楽部の卒業生を中心とした音楽集団「風韻（かざおと）」が、平成15年に創設され、その指導・指揮を務めるなど、合唱と吹奏楽の両分野で、本市の音楽芸術の普及・発展に尽力されてきた。

教育活動の場でも、互いの音楽を尊重し助け合うような温かく丁寧な指導により、全道・全国大会で数多くの上位入賞に導くなど、後進の育成に尽力され、今後のさらなる活躍が期待されている。

釧路市スポーツ賞



剣道 **山田 凌平さん**(18歳)

第16回世界剣道選手権大会男子団体優勝

小学校1年生から剣道を始められ、恵まれた体格を生かした思い切りの良い剣道で頭角を現し、中学校3年時に、全国中学校剣道大会個人で準優勝されている。高校は、剣道の名門校である熊本の九州学院高等学校に進学され、高校3年時の全国高等学校総合体育大会では、大将としてチームを団体優勝に導くとともに、個人でも準優勝された。

この実績が評価され、史上最年少で日本代表入りを果たされた。世界選手権大会では、予選の2試合と決勝トーナメントの1試合に出場され、全て勝利し、チームの世界一に大きく貢献された。このたびの世界選手権での活躍は、次世代を担う子どもたちに夢と希望を与えたものであり、日本の剣道界に新たな歴史を刻まれたことは、本市のスポーツの振興に大きく寄与された。



カーリング、ラジオ体操、ボート、ゲートボール、バレーボール、社会体育 **板本 猛さん**(72歳)

カーリング、ラジオ体操、ボート、ゲートボール、バレーボール、社会体育

昭和56年、釧路カーリング協会設立以来、30年以上にわたり要職を歴任され、平成11年からは会長として、本市におけるカーリング競技の普及振興に貢献されるとともに、大会誘致や競技人口の拡大に尽力されている。また、北海道カーリング協会、日本カーリング協会においても要職を歴任され、道内外のカーリング競技の発展に貢献されている。カーリング競技のみならず、釧路市ラジオ体操連盟、釧路ボート協会、釧路ゲートボール連合、釧路バレーボール協会等においても要職を歴任され、それぞれの競技の普及振興に力を注がれた。さらには、さまざまなスポーツ関係団体において、卓越した手腕を発揮されている他、40年以上にわたり、スポーツ推進委員を務められるなど本市における社会体育活動、生涯スポーツの発展に大きな役割を果たされている。これらの多岐にわたる活動は、本市のスポーツの普及振興に多大な貢献をされた。

フィギュアスケート



(故) **須貝 麻里子さん**(享年56歳)

35年以上にわたり、釧路スケート連盟フィギュア部の中核として、普及振興ならびに審判等に尽力されるとともに、選手育成に力を注がれ、これまでに、全道・全国・国際大会で活躍する優秀選手を輩出され、日本スケート連盟ジュニア強化コーチとして海外遠征にも帯同された。平成14年からは12年間にわたり、釧路スケート連盟副理事長ならびにフィギュア部長を務められ、平成22年の「くしろサッポロ氷雪国体」をはじめ、数多くの全道・全国規模の大会を成功に導かれた。晩年、闘病中も幼児から大人までが所属する「釧路ループフィギュアスケティングクラブ」、婦人サークルの「サークルエイト」を指導し、後進の育成に献身的に取り組まれるとともに、生涯スポーツとしてのフィギュアスケートの普及に尽力された。これらの絶え間ない活動の功績は、本市のスポーツの普及振興に多大な貢献をされた。

釧路市スポーツ奨励賞

アイスホッケー 釧路市立鳥取中学校アイスホッケー部



平成26年度全国中学校体育大会第35回全国中学校アイスホッケー大会優勝

昭和22年に創部されて以来、これまでにオリンピック選手をはじめ、数々の優秀選手を輩出するとともに、全国中学校大会では、2度の4連覇を含め、史上最多となる10度の優勝を果たすなど輝かしい成績を残され、平成2年と平成15年には釧路市スポーツ奨励賞を受賞されている。

平成25年の全国中学校大会では3位、平成26年は決勝戦に駒を進め、準優勝された。技術面のみならず、精神面や人間性を成長させたチームは、平成27年、過去2年間の雪辱を見事に果たし、11年ぶり11回目の全国制覇を成し遂げられた。

この優勝は、チームの最多優勝記録を更新するものであり、今後のさらなる活躍が期待されている。

【授賞式の日程】

- 釧路市民貢献賞 10月8日(木)午前10時
問合先 市役所市民生活課 (☎31-4521)
- 釧路市文化賞・釧路市文化奨励賞 11月3日(火)
問合先 市教委生涯学習課 (☎31-4579)
- 釧路市スポーツ賞・スポーツ奨励賞 10月予定
問合先 市教委スポーツ課 (☎31-2600)